



広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

9月15日は、高齢者の方を敬い、長寿を祝う敬老の日。市内に住む65歳以上の方は1万2256人(8月1日現在)で、総人口の10・4%になります。高齢者の中には、趣味を生きがいにして元気に活動している方が、たくさんいらっしゃいます。今回は、その中で、文化、スポーツで頑張っている2組の方々を紹介します。

いづまでも“はつらつ”と



「2000年90歳の個展」を開いた濱田スキエさん

中新田に住む、濱田スキエさんは、明治42年10月生まれの90歳。絵を描くことが好きなスキエさんは、昭和54年に市主催の公民館講座で、絵画の指導を受

けてから本格的に描き始め、四季の草花・動物・干支などを題材に、今まで1000枚以上の作品を、主に色紙に描き続けています。



個展は多くの来場者で大盛況

なれたのかなと思い、うれしかったですね」とスキエさん。個展が終わった後も、たくさんの方から、「頑張ってください」「今

2000年という節目の年に、90歳を迎えることから、子どもや孫たち7世帯約20人が、「記念に何かをしてあげたい」と一致団結し、8月6日(日)市民ギャラリーで、「2000年90歳の個展」と題し絵画展を開催しました。

スキエさんの体調を考え、8月6日の1日のみ。時間も午前11時から午後3時までの4時間として、体に負担をかけないようになしました。「最初は、身内だけで小さく開催しようと思っていましたが、話が進んでいくうちに、作品を多くの人に見てもうれしい」と、会場を市民ギャラリーにして、一般の人にも見てもらえるようにしました」と親せきの方たち。

当日は、今まで描きためた作品の中から約70点を選び展示しました。「誰も見に来てくれないんじゃないとかと心配でした」というスキエさんの予想に反して、いざ開催してみると、250人以上の人々が来場するほどの大盛況。スキエさんの体調を考え用意した休憩室にも、食事以外には入らず、会場に座り来場者と談笑していました。

「見に来てくれた何人かに、『絵を見て元気がでました』『励みになりました』などと言われ、私たちはみんなさんの力に感謝していました。



写真左から、後藤さん、山崎さん、中村さん、市川さんの「いづみ会」

全員が80歳以上の卓球サークル「いづみ会」

上今泉コミセンを利用し活動している、卓球サークル「いづみ会」。会員の4人全員が80歳以上という元気なサークルです。

会員は、市川富美子さん(80歳)、後藤富士枝さん(86歳)、中村ミチエさん(87歳)、山崎

タマヨさん(82歳の4人。練習は週2回。主に火曜日と土曜日の、午後1時から3時までの2時間行っています。

「会を始めて約2年になります。家に閉じこもっていたんじや

す。体がなるので、何か体を動かそうと思って始めました」と山崎さん。当初、後藤さんと2人で結成し、中村さん、市川さんと増え現在の4人に。

最初のうちは、ボールがどこへいくかわからず、卓球台の横を木でガードをしていましたが、現在では、木をはずしても打ち合えるまでに上達しました。

「卓球の試合といふよりは、何回打ち合えるかで楽しんでいます。運動し続

ると心地よい疲れで、そう快な気持ちはれます」と市川さん。練習も楽しみですが、みんなで会って話をすることも楽しみのひとつだと言います。市川さんは、「コミセンではほかのグループから『頑張って』とよく声をかけられます。若い人たちと話をすることも楽しみですね。この前もバドミントンのグループの人たちが、ひとまわり大きなかつらがあると教えてくれて、つもらつたんです」と。

今年の夏は暑く、夏の期間に初めて練習を休みにしたそうですが、今月から来月には、また練習を再開する予定です。「体の続く限りずっと続けていきたいです。卓球をやっていることで、自分が健康でいられる気がするんです」と、みなさん同じ答えが返ってきました。『スポーツの秋になると、また4人の元気な活動が始まります。

度はいつ個展をするのですか」などの手紙や電話が絵を描く励みになつて、今まで以上に絵に取り組む時間が増えたそうです。

普段の生活は、朝6時に起き、夜は8時から9時ぐらいに寝るという規則正しい生活。「時計がなくとも、だいたい時間がわかる。お腹がすいて知らせる腹時計でね」と。残っている歯は、入れ歯ではなくすべて自分の歯だそうです。

また、華道の家元教授でもあり、木や花などの植物も大好き

長生きしたいです」とスキエさ

ん。これからも、丹念な筆使いで、自宅の庭に植木や鉢植えがいっぱい。その草花を絵に描い

などを、考えるともつともつと長生きしたいです」とスキエさ

ん。これからも、丹念な筆使いから素晴らしい作品が生まれることでしょう。